

企業情報

HOLUDONA 株式会社

所在地	神奈川県横浜市		
ホームページURL	https://www.holudona.com		
設立年	2018年	業種	卸・小売業
従業員数	1人	資本金	200万円

企業概要

当社は2015年に創業。同社社長が子どもの不便から開発したレインコート収納ポーチ「かっぱっぱ」は、オリジナルの主力商品として製造販売を行っており、他にも、プロ野球チームのグッズ販売や有名アパレルメーカーとのライセンス商品としても展開しています。又、発明ママとしても活動している同社社長は、アイデアグッズの企画開発や、メディアへの出演や発明ママとしての講師活動なども行なっています。



自社の強み

地域のママや子育て支援施設などのネットワークを持つ当社は、とことんママの目線での商品開発を行っています。不良品を新たな商品へと開発しアップサイクルを行う取り組みや、小ロットにも対応できる内職さんとの連携など、地域のネットワークなどを活かした事業を行なっております。



一押し商品

新商品の「かっぱっぱポンチョセット」は、小学校の通学用と大人の自転車用ポンチョと、かっぱっぱポーチのセット品で、親子お揃いで着ることができます。

200人超のママへのアンケートを行い、その結果を元に現役ママ達が開発して、「こんなのがあったらいいな!」という思いを商品化しました。「かっぱっぱポーチ」は、「バツと着られる!」がキャッチコピーの子ども不便から生まれた同社社長の発明品で、「トレンドたまご」や「まちかど情報室」などメディアにも取り上げられています。



知財総合支援窓口活用の概要（記：窓口担当者）

窓口活用のきっかけ

レインコート収納ポーチの特許権を有して販売活動を行っていたところ、企業から製造・販売のオファーがあり共同で進めることとなり、ライセンス契約を進めるため、特許権の実施条件の設定、契約書の作成について当窓口にご相談にいられました。

最初の相談概要

対象商品の構成、特許権の確認を行い、ライセンス契約の進め方を説明しました。契約案を検討した結果、取得済みの特許権以外にも、商品に係るアイデアがあることがわかり、改めて商品をカバーする特許出願を行うため、技術的特徴の整理、特許出願の支援を行いました。

その後の相談概要

商品の特許出願のほかに、デザイン、ブランド戦略にも力を入れ、弁理士・弁護士・デザイナーの専門家支援を活用し、多くの知財権を取得して知財活用、契約交渉、事業推進に役立てています。

- ・特許第5488432号 レインコート収納ポーチ（他2件、出願中含む）
- ・商標登録第5999921号 HOLUDONA
- ・商標登録第5912402号 KAPAPA
- ・商標登録第5912403号 かっぱっぱ（他6件、出願中含む）
- ・意匠登録第1587443号 背負い鞆に取付けるポーチ

製造委託・ライセンス許諾といった商品展開の際に、これらの特許権・意匠権・商標権が、有効に機能しています。

窓口を活用して変わったところ

既に起業も済まされ、自社販売サイトの拡充、タイアップ企業への売り込みPR活動も積極的に展開され、いくつもの受注先も確保、今後さらなる拡大も見込める状況となりました。特許・意匠・商標の権利化手続きから戦略的活用を自ら計画的に実行しています。

企業からのメッセージ

当社は、当初他社とのライセンス契約を視野に入れて、自身で知財対策を行なっていましたが、知識不足により契約が上手く進まず、知財総合支援窓口にて支援を受ける事になりました。そこで、様々な角度からのアドバイスと専門家相談を利用する事によって、費用面を抑えながらしっかりと知財対策を取ることができました。おかげさまで、オリジナル商品のレインコート収納ポーチ「かっぱっぱ」の商標権・意匠権の獲得と、特許出願した事により、当社が独占して「かっぱっぱポーチ」を販売することが可能になり、チームグッズの受注生産やライセンス契約商品の「かっぱっぱ」が当社の売り上げに貢献しています。とことんママの目線で開発した「かっぱっぱ」の品質をしっかりと管理しながら、雨の日の不便を解決する便利グッズとして、より多くの人たちに広めていきたいと考えております。

窓口担当者から一言（氏名：安食 静二）



レインコート収納ポーチは発表時から多くの問い合わせがあり、各種メディアの紹介からも注目度の高い商品でした。これまでの支援により、商品展開時の契約への対応が明確になり、確実に知財意識が向上していますので今後の販路拡大が十分期待できます。